

大河原の 静かな春



人の話し声はなく、鳥の声と風になびく桜の枝の音だけが響く河川敷。
(尾形橋～末広橋)

大正 12 年と昭和 2 年に大河原町出身の実業家高山開治郎氏の寄贈により植樹され、毎年、桜の時期は国内外からのたくさんの観光客のかたで賑わう「一目千本桜」ですが、今年は新型コロナウイルス感染症対策により、平成 23 年の東日本大震災以来となる桜まつりの中止となりました。

令和 2 年の桜は、例年になく早く開花し、静かに満開を迎えました。

来年はいつもと変わらぬ景色が戻るようお願いを込めて、外出自粛などで桜をご覧いただけなかった町民の皆さんに町内の美しい桜の風景をお届けします。



▲出店が出ていない河川敷は、川面に映る桜が目立っていました。

白石川右岸河川敷から金ヶ瀬さくら大橋と
残雪の蔵王連邦を望む（上大谷地区）



▲大河原公園内の丘と桜と蔵王がマッチングした風景。



▲鳥居の朱色と淡い桜の花のコントラストが美しい
大高山神社（金ヶ瀬地区）



ひとめ最多（咲いた）の千本桜
（末広歩道橋先左岸遊歩道より）